

次期生物多様性国家戦略のこれまでの検討状況と策定に向けたスケジュール

1. 次期生物多様性国家戦略に関連する国内外の動き

(1) ポスト 2020 生物多様性枠組の検討状況

- ・ 6月21日～26日にケニア・ナイロビで、「ポスト 2020 生物多様性枠組」第4回公開作業部会（OEWG4）を開催。同作業部会においては、同枠組についての多くの論点が合意されていない。今後、非公式会合等の開催を検討しつつ COP15 第二部での合意を目指す。（資料2 参考1）

(2) 30by30 ロードマップの公表

- ・ 4月8日に生物多様性国家戦略関係省庁連絡会議名で「30by30 ロードマップ」を公表。同日「生物多様性のための 30by30 アライアンス」を発足。同アライアンスは133者から始まり、8月4日現在251者で構成。（資料2 参考2）

2. 次期生物多様性国家戦略策定に向けたこれまでの検討状況

	部会・小委員会等	主な検討事項
2020年 1月～ 2021年 7月	次期生物多様性国家戦略研究会 (計9回開催) 同研究会報告書公表	・ 中環審での検討に先立ち、次期戦略に向けた主要課題の洗い出しと方向性に関し、有識者が検討 ・ 次期国家戦略の策定に向けた研究会からの提言
8月	第44回自然環境部会	・ 諮問、小委員会の立ち上げ
11月	第1回小委員会	・ 小委員会発足、関係省庁ヒアリング
12月	第2回小委員会	・ 関係団体ヒアリング①
2022年 1月	地方公共団体首長ワークショップ 第3回小委員会	・ 地方公共団体からの提言 ・ 関係団体ヒアリング②、骨子案検討
3月	第4回小委員会	・ 第一部素案の検討①
7月	第5回小委員会	・ 第一部素案の検討②、第二部素案の検討

3. 次期生物多様性国家戦略策定に向けたスケジュール

- ・ 6月のOEWG4の冒頭で公表されたとおりCOP15開催日程が12月になったことから、次期生物多様性国家戦略の策定は、2022年内ではなく2022年度内を想定。
- ・ 想定されるスケジュールは以下の通り。

	次期生物多様性国家戦略	国際的な動き
3月	第4回小委員会（3月22日）	ジュネーブ会合（OEWG3）（3月14日～29日）
4月	・ 第一部素案の議論 30by30ロードマップ公表（4月8日）	
5月	NGOとの意見交換	G7気候・エネルギー・環境大臣会合（5月26～27日）
6月	都道府県担当者との意見交換 学会との意見交換等	ナイロビ会合（OEWG4）（6月21日～29日）
7月	第5回小委員会（7月11日）	IPBES総会第9回会合（7月3日～9日）
8月	・ 素案の議論/第二部素案の提示 第45回自然環境部会（8月10日）	生物多様性条約COP15第二部 （書面での意見提出） （オンライン会合 等）
9月	・ 素案の議論/環境基本計画の点検	
10月		
11月		直前交渉会合（OEWG5）（12月3～5日） <u>生物多様性条約COP15第二部（12月7日～19日）</u>
12月	閣議決定（見込み）	
1月	第6回小委員会	
2月	・ 案の議論 パブリックコメント、地方説明会	
3月	自然環境部会・第7回小委員会 ・ パブコメの反映/答申 <u>閣議決定（見込み）</u>	